



東京都立高島特別支援学校

学校だより

令和6年5月号

東京都立高島特別支援学校

校長 石川 拓

令和6年4月30日発行

■ 情報発信の充実に取り組みます！

全校保護者会にご参加いただきありがとうございました。全体会での説明内容は、[期間限定のYouTube配信でご視聴いただけます。4/26\(金\)にさくら連絡網でご案内しました。](#)校長から学校が向かう方向や重点となる取り組み、担当から年度初めに共有したい事項をお話ししました。ぜひご視聴ください。

<●5月「学年だより」が大きく変わります！>

これまでの予定や連絡事項中心の誌面を改めて、教育活動全般について掲載していきます。**学年の教員たちがライターとして順繰り執筆を担当します。**

たとえば「授業のねらい・指導方法」「日々の学級・学年でのエピソード」「外部専門員活用」「学校間交流」など、様々なテーマで、ホットな情報をお伝えします。

<●情報発信の質を高めて専門性を向上します>

教員が書いて発信し続けることで、考えを整理したり分析したり批評されて内省したりする機会を得ることができます。120人に及ぶ教員たちが記事を書き続けます。

保護者の皆様をお願いします。年間を通じて、各種お便り・HP・Xなどの記事にご意見やご感想をお寄せください。やりとりが励みになりますし説明力向上は教員の専門性向上の近道だと考えています。

<●X（旧Twitter）へのポスト・HP更新充実>

Xのフォローをお願いします！（リンク⇒X）

【以下全校保護者会資料より】



<●「教育情報部」を設置しました！>

情報発信・デジタル・A T（アシスティブティブテ

ノロジー／支援技術）利活用を進めるため、若手手から中堅の10名を抜擢しました。

既にホームページは、[スクールカラーの「さくら色」](#)に変えて大幅リニューアルしました。

今後はタブレットのアプリケーションや便利な機器の導入、デジタル教材の充実を進めます。

<●地域の皆さんの理解充実を地道に続けます>

各種アート展への参加を継続します。図工・美術科の教員たちが努力して、子供たちの素敵な作品を美しく各地で展示します。時期が来ましたらお知らせします。



学校間交流への他校や本校の一部の保護者参加を試行します。対面の環境で見て触れて感じていただける機会を徐々に増やしていきます。

地道な情報発信を重ねて、特別支援学校や障害を有する人たちの教育や暮らし（医療・福祉・労働）を応援してくださる人を増やすことで、子供たちの生き生きとした未来作りに貢献していきます。

■ スクールバスの運行時刻調整にご協力ください 年度当初の運行時刻を変更する場合があります。

4月は新たな運行時刻表で走り始めの月です。想定と実際の道路状況にズレが生じている場合には、5月からの定時・安定運行を目指して、運行時刻を修正する場合があります。



運行時刻変更が必要な場合には、該当する保護者の皆様に個別に連絡いたします。

運行時刻に変更があったコースの利用者全員に正式な運行表を改めて配布いたします。転入生がある場合にも年度途中の運行時刻変更を行う場合があります。ご理解くださいますようお願いいたします。

■ 外部専門員の活用について説明します

「都立特別支援学校知的障害教育外部専門員設置要項」に基づいて、**14人の外部専門員を招聘**します。

医療系専門職が6職種9人、ICT・AT活用系

が2人、学習内容指導系が3人です。

外部専門員は、教職員の専門性向上を図る職です。外部専門員の指導助言の対象は「教員」です。

①担任から保護者の皆様への説明

外部専門員活用を計画している場合には担任が指導助言を受ける目的と内容を事前にお伝えします。

外部専門員活用後には指導助言の結果や経過を報告します。

②外部専門員による児童・生徒へのアセスメント等の結果の取扱い

教員の育成を目的にしたアセスメントであるため、次のように対応いたします。

ア	外部専門員が作成したアセスメント等の資料原本(写し含む)を直接保護者に見せたり渡したりすることはいたしません。
イ	アセスメント内容の保護者への説明は、担任が保護者と共有すべき部分を整理して資料化し、あるいは口頭で共有します。

③外部専門員の活用場面の保護者見学の取扱い

原則として、外部専門員による観察・指導・助言そのものの見学希望はご遠慮ください。

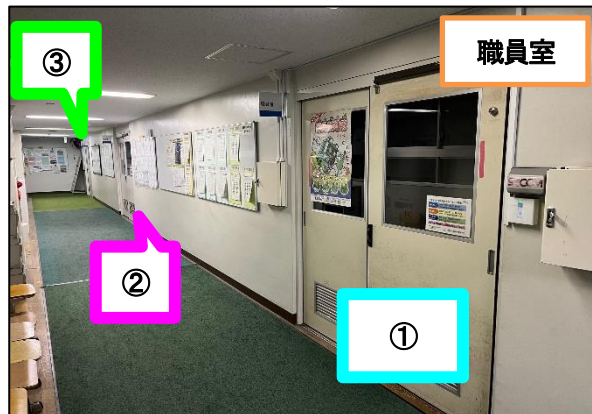
活用状況につきましては、学校便り、研究研修部からの通信、学年便りや連絡帳で随時お伝えします。

■ 保護者の皆様の職員室入室はご遠慮ください

職員室内には、個人情報や重要物品等がたくさんあります。今年度から、次のようにいたします。

職員室の3か所のドアのいずれでも構いません
ドアを開けて**中に入らず**に、教員の名前を呼んでいただくかご要件をお伝えください。
児童・生徒も同様に対応いたします。

ご不便をおかけします。どうぞご協力ください。



手前 ①のドア：小学部6年に近い
 中央 ②のドア：小学部5年・4年に近い
 奥 ③のドア：副校長・中学部・小学部低学年に近い

■ Kids Festa 2024に行ってきました

4/20(土)4/21(日)に東京流通センターで開催された『 Kids Festa 2024

第23回 子どもの福祉用具展 アンダー18 』に行ってきました。枝垂れ桜が満開の会場でした。



ハイテクからローテクまで、寝具、遊具、知育玩具、コミュニケーション支援機器、訓練具、各種スプーン、怪我をしにくい調理器具、姿勢保持具、リラクゼーショングッズ、医療的ケアの機器、車両、住宅改造関連 など、書き切れないほどの福祉用具等と、熱心な開発者や事業者、大勢の子供たちとご家族に会いました。

教育や訓練だけでは、目標にたどり着くまでに時間がかかることがたくさんあります。教育や訓練による積み重ねだけに頼らないように発想を変えてみてはどうでしょうか。目標や子供の実態によっては支援機器等を活用することで、すぐに達成できたり、すぐに困難を和らげて快適化を図ったりできることがあります。積み上げて乗り越えることと、テクノロジー等を活用して今すぐ達成できることを上手に組み合わせたいと、いつも考えています。

春は4月に Kids Festa が流通センターを会場に開催されます。

秋は10月にHCR(国際福祉機器展)が東京ビッグサイトで開催されます。こちらは平日3日間開催です。今年度は10/2(水)から10/4(金)です。昨年から教員を出張させています。(リンク➡HCR)

圧倒的な物量の展示とフォーラム・セミナーが開催します。お時間を作ってぜひお立ち寄りください。

日常生活用具等として自治体の福祉制度等を活用して購入できるものもたくさんあります。介護する者も介護を受ける者もお互いが長く健康に、そして自律的に生きることができると良いです。それは障害の有無に関わりません。ぜひ、共に学びましょう。

校長 石川 拓

■ 個人面談がはじまります

教務部主任 主幹教諭 笠井 達矢

本校では一年に3回の個人面談を設けております。
初回の個人面談期間は5月8日(水)から14日(火)までの7日間です。

特別支援学校は個に応じた指導を行うために「個別指導計画」を作成しています。個人面談は「個別指導計画」の計画・修正・評価・改善の過程に保護者の皆さんが参画する大切な機会です。学校と保護者の皆様が協働することで子供たちの教育活動が成り立ちます。

保護者の皆様は担任にご家庭でのお子様の様子や、身に付けさせたい力や、夢や期待や困っていることなどもお伝えください。

担任からはお子様の学校での様子を詳しくお伝えすると共に、どのような目標を設定して、どのような手立てで指導・支援していく計画であるのかをお伝えします。やり取りを通して個別指導計画をより良いものにしていきます。

個人面談期間に限らず一年を通じた、学校とご家庭でのお子様の様子・課題の共有が、お子様の個に応じたよりよい学びにつながります。

■ 高島特別支援学校の防災対策

生活指導部主任 主幹教諭 佐藤 しほ

学校では、都が定める「避難訓練の手引」に則り（[リンク⇒上記手引き](#)）、地震や火災、水害、台風等の荒天などを想定した避難訓練を年間12回行っています。避けることのできない自然災害から、児童・生徒を確実に守るために、訓練の度に避難行動や避難経路、安否・連絡手段の確認などを行い、災害時に混乱のないよう準備しています。

次の訓練につきましては、保護者の皆様にご協力をいただきます。

- 9月6日(金) 総合防災訓練(引き取り訓練)
- 10月18日(金)～19日(土) 一泊二日宿泊防災訓練
※中学部2年生対象

災害発生時に児童・生徒が帰宅困難になった場合に備えて備蓄している物品を紹介します。

【災害時対応備品】毛布、カセットコンロ、ガスボンベ、鍋、食器、浄化ろ過機、発電機等

【備蓄食料】調理用水、飲料水、白米(アルファ化米)、クラッカー、みそ汁、カレー、クリームシチュー、オニオンスープ

※全校児童・生徒、教職員の3日間分

子供たちの安心・安全を守り抜くために、保護者や地域の皆様と一緒に常に備えを整えてまいります。

■ 外部専門員による「作業学習」研修を実施しました

研究研修部主任 主幹教諭 菅井 郁

“CHK”という会社をご存じでしょうか？一般社団法人チャレンジドハウスキーピングシステム[®]協会の略称です（[リンク⇒CHK](#)）。

『チャレンジド（障がいにより支援が必要な方）がハウスキーピング（清掃）を通じて、社会参加するためのシステム』を提供している法人です。

都立板橋特別支援学校でもCHKを活用した「除菌清掃」作業の学習が行われています。本校でもこのシステムを導入することにしました。

導入の意図は2点です。

- ①高等部設置校との教育内容の継続性を高めること
- ②中学部「作業学習」を、[ものづくり中心の内容からサービス業等へ転換していくこと（その取組の一つ）](#)



4月4日(木) 導入学年となる中学部3年生の教員を中心に同法人代表理事 足立 友秀氏による研修会を行いました。内容は障害を有する人にも扱いやすい『道具を使って、消毒や感染防止を目的とした清掃をする』システムを学ぶというものでした。「掃除はその施設内で過ごす人達の健康に携わる大切な仕事」という強い誇りが感じられました。

CHKの除菌清掃システムは、次のように作業工程と作業の成果が分かりやすい特徴をもっています。

- ①清掃した個所の汚れをブラックライトで可視化する⇒②計測機器で測定する⇒③作業の成果を確認する

除菌清掃作業を通して、清潔であることの大切さも印象付くため、清掃作業の質を向上しやすいうことが良く分かりました。

「作業学習」は作業活動を学習の中心に置きながら、**働く意欲を育て、職業生活や自立に必要な事柄を総合的に学習**することができる「各教科等を合わせた指導」の一つです。ある**特定の作業の技術を身に付けることが目的ではありません。**

足立さんは指導者の役割について「手を出し過ぎない」「指示し過ぎない」「叱らない」「ほめ過ぎない」「気付きを大切に」とお話しされていました。指導に役立つヒントがたくさんありました。

除菌清掃導入を皮切りとして、作業学習の作業種転換や指導方法改善を図ります。分かりやすい作業工程や作業環境を整備して、生徒の主体的な行動を引き出すことで、自立への心構えも育むことができるように、取組んでまいります。

令和6年度 5月行事予定

スクールバス発車時刻 午前便11:40 1便13:55 2便15:35

日	曜	全校行事	小学部	中学部	保健
1	水	安全指導日			視力検査(中3)
2	木				歯科検診 (小3、4)
3	金	憲法記念日			
4	土	みどりの日			
5	日	こどもの日			
6	月	休日			
7	火				視力検査 (小3、小6PM)
8	水	個人面談 始			体重測定(中)
9	木		1便下校	1便下校	耳鼻科診(小5~中) 尿検査2次
10	金			1便下校	体重測定(小4~6) 尿検査2次
11	土				
12	日				
13	月		1便下校	1便下校	体重測定(小1~3)
14	火	個人面談 終	1便下校	1便下校	視力検査(AM) (小4、5)
15	水	避難訓練(火災)			
16	木				精神科健康相談 耳鼻科診(小1~4)
17	金				視力検査 (中1、2)
18	土				
19	日				
20	月				心臓検診 (小1、中1)
21	火				
22	水				歯科検診 (小5、6、中1)
23	木				眼科検診(欠席者) 視力検査(小2)
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				視力検査(小1)
28	火				
29	水				聴力検査 (小4、5)
30	木				聴力検査 (小1、3)
31	金			卒業生保護者の話を聞く会(中) PM	聴力検査 (中1、3)